

橋梁耐震補強設計 研修会報告 (H.26.6.26～27 開催)

技術マネジメント研究所

平成 26 年 8 月 20 日



・技術マネジメント研究所 上野代表の挨拶

若手技術者の教育・育成事業として、防災分野の重要テーマである橋梁耐震補強設計研修会を岡山で2日間実施いたしました。

冒頭、当研究所の上野から研修生に対し、「時代が要請する新たな技術を積極的に習得すること」の重要性を述べさせていただきました。

今回の参加者はアベノミクスによる業務多忙な中、41名の参加となりました。参加企業は広域にわたり、遠方は長崎県、高知県からご参加いただきました。



・熱心に聴講する研修生

研修後はぜひ、実践で研修結果を活かしていただきたいと思います。技術的に困ったことがあれば、遠慮なく講師に尋ねていただくようお願いしました。

講師：高 龍 氏（新日本技研株式会社 設計部長）

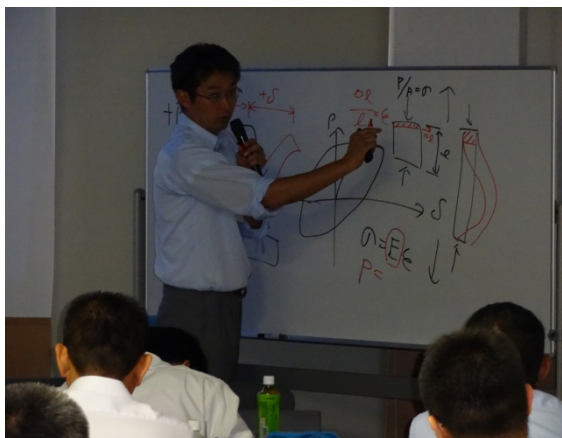
・技術士（総合技術監理部門・建設部門：鋼構造およびコンクリート、土質および基礎）

・APECエンジニア、コンクリート診断士

・平成25年度中国地方整備局 局長業務表彰受賞

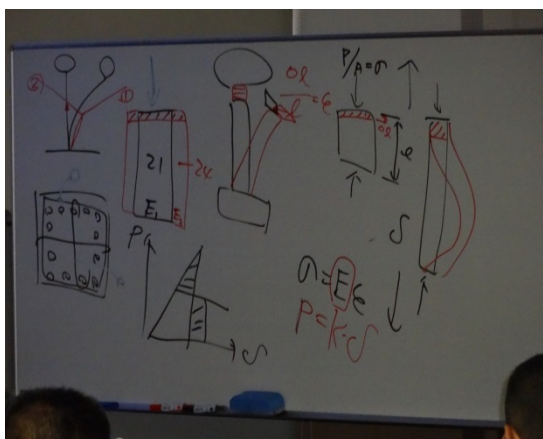
研修項目は以下の通りです。

1. 概説
2. 橋脚の耐震補強設計（静的解析）
3. 動的解析の利用
4. 支承と落橋防止システム
5. 耐震設計演習
6. 特殊橋梁の耐震設計事例
7. 質疑・応答



・丁寧に説明される講師

皆さんから本研修会について、意見・要望をいただきました。 その一部をご紹介します。



・保有水平耐力の説明図



・演習時、丁寧な指導

- ① 1日目（講義）は内容が濃密であるにもかかわらず、解かり易く説明していただき、良く理解できました。2日目の演習については不慣れなものには即座には難しかった。もう少し、時間が欲しかった。
- ② 保有水平耐力法の計算過程を解かり易く説明していただき理解することが出来ました。これまで発注者への説明が曖昧になっていましたが、今後は自信をもって説明することが出来ると思います。
- ③ 道路橋示方書を読んでもなかなか理解し難い部分を解かり易く説明していただき、理解を深めることが出来ました。
- ④ 研修会のテキストはとても解かり易くまとめられており、今後、社内の技術者にとって役立つものと思います。

また、演習で提供され使用したエクセルシートは今後、実務に役立つものと思います。

⑤今後の研修会テーマとして動的解析を希望します。また、平成27年度の道路橋示方書改定に合わせた研修会を希望します。

⑥この研修会には遠方からも参加されており、他の地域でも実施されると良いのではないのでしょうか。

研修生の皆様からは、この他多くの建設的な意見・要望をいただきました。お礼申し上げます。講師の新日本技研株式会社 高 龍部長様にはテキストの準備、2日間の講義と大変ご苦勞をお掛けしました。この場をかりて厚くお礼申し上げます。

皆さん、真剣に研修を受けられたことが印象的でした。感心するとともに、このような研修会を開催させていただいたことに感謝いたします。必ずや今後の業務実施に活かされることと思います。